

令和2年度第4回

すぎなミーティング報告書(令和3年3月20日開催)

「学校の未来を語ろう」

～身近な学校の体育館をもっと自由に使えたら？～

区では、区政への区民参加の仕組みづくりを進めています。その取組の一つとして、その時々行政課題をテーマに、区長と区民が直接意見交換をする場「～区長と話そう、聞いてみよう～すぎなミーティング」を開催しています。

今回は、「学校の未来を語ろう」をメインテーマに、無作為抽出した2,000名の中から参加いただいた11名の方と、学校施設の有効活用について話し合いました。また、具体的なイメージを持って意見交換ができるように、ミーティングの前に学校の体育館や校庭を見学していただきました。



区長の想い!



●公共財としての学校

本日、この学校をご覧になって皆さんどのような印象を持たれたでしょうか。この高円寺学園は、小学校2校と中学校1校を統合してできた学校です。杉並区には、小学校が40校、中学校が23校、特別支援学校1校合わせて64校があります。

学校施設は、「地域の公共施設であり公共財である」であることから、学校の管理の仕方とか運営を今後どうしていくかが課題だと思っています。学校として運営していない日や時間帯に、学校施設をもっともっと有効に活用することができれば、区民の皆さまのスポーツや趣味などさまざまな活動のニーズに応えられると考えています。

●部活動と地域のスポーツの受け皿としての学校

中学校の部活動は、日本のスポーツ活動の基盤としての役割を果たしてきたと言えますが、現在では、少子化の影響もあり、学校単位で一つのチームを編成することがなかなか難しい状況にあります。先生は忙しい上に、部活動で指導するにはスポーツの技術習得や知識向上も求められ、個人でできることの限界をはるかに超えている方も多くいます。今後、学校運営以外の時間帯、曜日においては、学校施設の運営管理を教育委員会から区長部局に移して、地域のスポーツ活動の拠点となり、ひいては地域スポーツが部活動の受け皿となることができないかなど、内部でいろいろ議論しているところです。



教育長の想い！

●学校部活動の現状と今後の方向

学校の体育館や校庭等を区民の方々が、余暇のスポーツや趣味などにもう少し活用できたら、ということが私たちの考えの原点にあります。中学校には部活動がありますが、少子化の影響でチームが編成できず単独で試合に出られない、あるいは合同チームで参加せざるを得ないなどという状況があります。また、部活動は、教員にとって勤務時間外である午後4時半から午後6時に行うのが一般的であり、いわゆるボランティア活動です。全く経験のない運動部や文化部の顧問を担当することも多く、専門的指導も審判もできないといった課題があります。また、遅くまで部活動を指導した後に次の日の授業の準備をしなければならず、働き方改革にも大きな課題を残しています。このように、学校の部活動を学校のみで運営していくことはかなり困難となってきました。ぜひ、今日は様々な現状をご理解いただき、皆さんとたくさんアイデアを共有できればと思っています。



教育委員会事務局の説明

●地域における学校施設の役割

学校は、教育施設であるとともに身近な公共施設です。法律上は、「目的外使用」といい、教育上支障のない限り、地震が起きた時の震災救援所、選挙の投票所、町会・自治会や青少年育成委員会の行事など、様々な形で利用されています。

区は、教育環境の向上を図るため、区立学校に空調設備などを充実させてきたほか、施設の老朽化には、計画的に改築、改修を行ってきました。こうした学校施設を有効活用していくことはとても大切なことだと考えています。



●学校開放事業の現状

また、学校開放事業として、放課後や土日、祝祭日などに体育館や校庭などを区民が利用できるようにしています。小学校の校庭は、登録団体や一般の方へ開放していますが、主に副校長が、団体や一般の方々からの使用の申し出を調整して、それぞれの使用日時等を決めています。また、中学校23校と小学校2校の25校では、学校ごとにあらかじめ登録した団体が、定期的に校庭や体育館を使えるように「利用者団体協議会（利団協）」を組織し、月に1回程度、利団協の方々が集まって利用調整を行っています。登録団体は区内に658団体（令和2年4月現在）あります。

●学校開放事業の課題と今後の方向性

人生100年時代を迎え、地域スポーツや生涯学習のニーズが高まっています。国では、地域スポーツが部活動の受け皿となる取組も進めています。これからは、総合型地域スポーツクラブの活動拠点としての活用も視野に入れるほか、理科室や家庭科室などの特別教室の利活用も将来的には検討する必要があると考えています。

参加者の主なご意見

●さざんかネットシステムでの予約

誰もが平等に公共財である学校施設を使えるようにし、利用状況が分かるさざんかネットシステムで予約できるようにして欲しいです。使う人が学校まで行って申請する時代ではないと思います。

●専門的なスポーツや教室も

区民が気軽に、簡単に申込ができるような仕組みをつくり、積極的にPR活動を行ってほしいと思います。また、営利目的の利用となっても、専門コーチを呼んでのスポーツ活動や専門家による料理教室などが開催されたらいいと思います。

●障害者スポーツへの理解と体験拡大

障害者スポーツの用具等を区が購入して、ローテーションで学校施設を巡回させるなどして、放課後等に子どもたちや地域の人ができる体験できる場にできれば良いと思います。

●日頃から学校に集う

いろいろな人がいろいろな使い方をできたらいいと思います。学校は地域の中心であるべきで、災害があっても初めて行くのではなく、そうした時にスムーズに活用ができるためにも、日頃から様々な年代の人が学校に集うようにするのいいと思います。子どもたちもたくさんの経験をし、多様な価値観に触れるきっかけになればと思います。

●管理のしくみを民間に委託

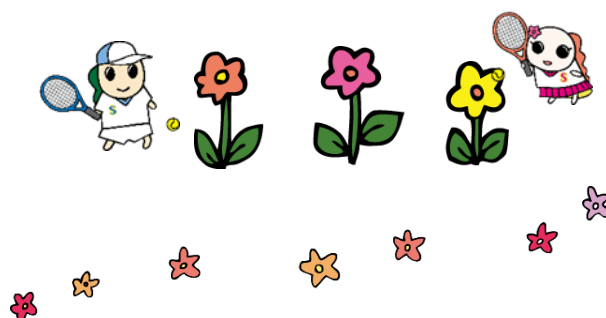
先生たちの負担を減らすためにも、学校施設の管理を外部事業者へ委託することも必要だと思いました。

●もっとPR活動を

どんなに優れた制度であってもそれが人に伝わらなければ使われることもなく、無駄になってしまいます。誰にでも分かりやすく、伝わるPR活動を行うことがとても大切だと思います。



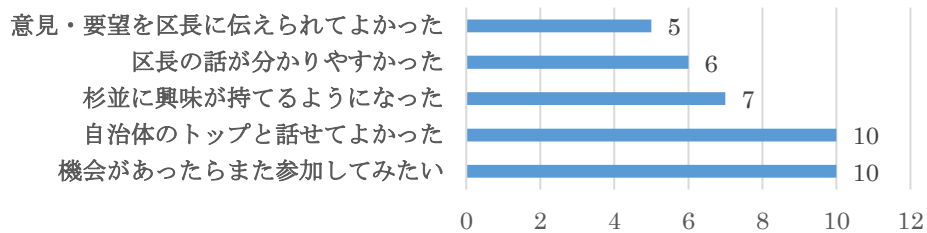
区長：今日、学校の校庭に人工芝のテニスコートをつくるというアイデアをいただきました。テニスには人気が高く、なかなか予約が取れないと聞いています。新たにたくさんのテニスコートを建設するとなると、面積的にも土地の確保が非常に難しい問題となります。今日のアイデアは、子どもたちにとってのテニス環境が良くなるとともに、テニス愛好家の皆さんの希望にも応えることができると思いました。





すぎなミーティングに参加した感想(複数回答有)

(人)



すぎなミーティングを終えて

今日のすぎなミーティングでは、今後の学校施設の利活用について、さまざまな思いやアイデアを聞くことができました。

ミーティング終了後のアンケートでは、「自分の住んでいる地域のことを考え、議論できることは素晴らしいことです」「健康増進のための地域スポーツや文化の振興に学校が活用されるのはとてもいいことだと思います」「学校施設の有効利活用という、今まであまり考えなかったことを皆さんと話ができてとてもよかったです」などの感想をいただきました。

このミーティングでいただきましたご意見等は今後の取組に活かしてまいります。

本日はどうもありがとうございました。

令和2年度 第4回すぎなミーティング報告書

・開催日 令和3年3月20日

・参加者 区民11名、区長、教育長、教育委員会事務局次長ほか

令和3年5月 編集・発行 総務部区政相談課

〒166-8570 杉並区阿佐谷南一丁目15番1号 電話 03-3312-2111